

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

三春わが街

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

■コミュニティだより

VOL.100 (年4回発行)

■発行日 令和3年6月30日

■発行 三春まちづくり協会

■ 編集 三春まちづくり協会広報部会
三春町大字貝山字泉沢100-1(旧若駒寮)
TEL/FAX(62)3988

『協働する地域社会の課題解決を目指して！』

令和三年度「三春まちづくり協会」

本協会においては、会則の定めにより毎年総会を開催して、予算、事業、会則の改廃、役委員の承認、その他重要事項を協議いただいているところですが、本年におきましては新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、書面決議とさせていただきます。後日、すべての議案において六十名に対して四十九名の賛成をもって可決されました。

相川協会長
あいさつ要旨



協会長

相川義則

初夏の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より当協会活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。さて、例年ですと三春

まちづくり協会の総会を
実施しているところですが、昨年に引き続き本年度も新型コロナウイルスの感染拡大が収束せず、誠に残念ですが、本総会を中止することといたしました。

会員の皆様には大変申し訳ありませんが紙面での審査や各種行事の延期や中止となり皆様には大変ご迷惑をおかけしております。

感染拡大が続いており
ますが、高齢者へのワク
チン接種が始まり、明る
い兆しが見えてきました
少しずつ平常に戻るこ
とを期待しています。

又、念願だった役場新庁舎も完成し、町民の安全安心の拠点として役割を担っていただけます。

三春まちづくり協会も新たな会員と共に更なる発展を目指して、邁進します。皆様のご協力を宜しくお願いします。

コロナ禍の中、大変難しい課題ですが、三密を避け、健康に十二分に配慮し、この困難な時期を各部会で知恵を出し合い安全で安心して暮らせる街、町民が誇れるまちづくりに、取り組んでいます。

地域住民の皆様はじめ
諸先輩、スタッフの皆様
と、よくコミュニケーション
のため、今後とも、ご協
力を宜しくお願いします。

坂本町長



三春町長
坂本 浩之

三春まちづくり協会の皆様におかれましては、日頃より、町政全般にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

「三春わが街」への寄稿に際し、一言ご挨拶申し上げます。現在、新型コロナウイルス感染症については、新型コロナウイルスの変異株が猛威を振るう等、いまだに収束が見通せない状況となっています。

三春町においても感染症防止の切り札とされる新型コロナウイルスのワクチン接種が高齢者を皮切りに始まっています。

携しながら接種事業を推進し、この困難を乗り越えて参りたいと考えております。

さて、三春町におきましては、三月三十日に滝桜が開花し、例年にならない早さで満開となりました。昨年は、全国的な緊急事態宣言もあり、観桜を中止せざるを得ませんでした。今年も、十分に感染症対策を実施し、多くの方々に満開の滝桜の姿をご覧頂くことができました。

また、五月には、念願であつた新庁舎が開庁しました。旧庁舎は老朽化が進み、耐震性に不安がありました。耐震性が不安がありましたが、新たな庁舎では、耐震・防火性能が向上し、災害対策活動の拠点としての機能を備えております。さらに、バリアフリーや交流スペースを確保したことにより、誰もが利用しやすい庁舎となりました。

町民の皆様が集い、旧
庁舎同様、新たな庁舎も
町民から愛される庁舎と
なるように職員一同、努

めて参ります。
結びに、町民の皆様が
安心して暮らせるように
福祉サービスや子育て支
援などの施策の充実はも
ちろんのこと、新型コロナ
ウイルス感染症の収束
に向け、町民一丸となり
取り組んで参りますので
ご支援とご協力のほどよ
ろしくお願いいたします。

三協副監	春會協	ま会	ち会	づ会	くり会	協役員	川久井分藤本内間原本谷	義誠久三誠彰	則治久昭夫郎久治実勇孝子
大中八荒北新八部専	町幡町島台	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	栗原玲		
部会名	氏名						推薦団体		
生涯学習部会	◎平山聡						民生児童委員		
	○鈴木伸一						大町		
	杉本良人						北町		
	小松興男						新町		
	伊藤善孝						八島台		
	佐久間重夫						八幡町		
	谷又暉子						荒町		
	川葉順子						中町		
	千辻裕啓						民生児童委員		
環境部会	◎菅井純一						八島台(区長)		
	○大内一夫						新町(区長)		
	橋本隆武						商工会		
	村田勝正						北町		
	白岩良子						中町		
	大堂山哲茂						大町		
	橋本文四						八幡町		
福祉部会	◎人見正司						荒町(区長)		
	○大津早苗						民生児童委員		
	今井幸苗						荒町		
	栗山富久子						民生児童委員		
	加藤愛子						民生児童委員		
	柴佳代子						民生児童委員		
	荒井しづ						民生児童委員		
	本田嘉則						八島台		
	服部幸治						荒町		
地域部会	◎園谷彰孝						大町		
	○羽賀敏則						北町		
	横山博宣						新町(区長)		
	加藤佐智子						民生児童委員		
	山代常勝						大町		
	本田儀勇一						八幡町(区長)		
	鈴木金由						中町		
	泉田男誠						交通安全協会		
街並部会	◎佐久間保一						八島台		
	○中村利孝						中町		
	渡辺義広						中町		
	渡辺勝雄						北町		
	根本忠聡						新町		
	橋本康子						大町		
	橋本正幸						荒町		
広報部会	◎目黒知希						八幡町		
	○佐藤久夫						北町		
	原井博						大町(区長)		
	永井久雄						荒町		
	吉田寿雄						中町		
生涯学習部会	服部昇						八島台		
							新町		

◎部会長 ○副部会長

初心に聴く

生涯学習部会

辻 裕

「ご縁がありましてこの度まちづくり協会生涯学習部会員に参加させて頂きます。三春小学校PTAの辻裕と申します。よろしくお願い致します。私は三春町で生まれ育ち四十余年、家業の鉄工所の後継ぎとして仕事をする傍ら、五人の子供の子育てにも精を出す毎日です。子供と生活する中で気付かせて貰うこと、子供に教えて貰うことがこれまで数多くあり、そういった積み重ねで私自身が父親として成長させて頂いてるのだなと最近特に実感致しました。上の子供からは私達の時にはあんなに怒ったのに、同じことしている下の子には何で怒らないの?と愚痴を言われることもあります(笑)。大人になつてからもこのように成長させて頂けるのであれば、まさに生涯学習の場なのだなと思います。色々なことが起こる人生ではありますが、その体験、経験を一つの勉強として出来るだけ前向きに捉え、これからも日々精進して、子供たちに胸を張れる父親を目指して行きたいと思ひます。このような私ですが少しでも皆様のお役に立てればと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。」

生涯学習部会

佐久間 啓

「再入会として思うこと」私は、数年前に三春小の代表として入会しており、これで二度目となりました。前回は、まちづくり協会の方々の活動概要がやつと腑に落ちたというのが正直な感想です。今回は、もう少し活動に参加できればと考えております。まちづくりに必要なことには、物質の面と精神の面がありますが、特に後者において郷土愛や文武芸道の香りがその根底であり、三春には当たり前に存在していたように感じます。しかし、これは努力なしには衰退の一途を辿るもの。今も文化を大切にされている協会の各先輩方の御尽力に心より敬意を表さずにはいられません。さて、このたび三春町役場新庁舎が完成し、誠に喜ばしく思います。しかし、ひとつだけ残念なことは、この機に図書館が併設されなかったことです。図書館は知の宝庫であり、町民の文化レベル、則ち民度の物差しであるとも言えるからです。魅力ある町の要素として公共建築、とりわけ図書館の存在は大きく、須賀川市や南相馬市などの評価が高いのもこのためです。庁舎新築は、まさに

好機であつたと言えます。(もし、別に図書館の新築が議論・計画されているなら、全く私の心得違いであります。)

ところで、子供たちの教育環境の先行きを考えますと、現在の少子化の流れから、そう遠くない将来、既存の小中学校の在り方が議論されること避けられないと思われる。その時、単なる数字上の合理性ではなく、まちづくりの長期的な観点からも本質的かつ発展的なものの見方で、より良い教育環境の実現を目指さなければいけないと考えます。

少々の射ぬ内容となつてしまいましたが、結びとして、三春を子供たちが誇れる町として維持発展させるのが私たち大人の責任であると心得、微力ながら一歩一歩進んでいくことを申し上げ挨拶に代えさせていただきます。

環境部会

橋本 文四

三春まちづくり協会環境部会委員の抱負と云うより空想と思つて頂きたいと思ひます。社会生活の環境部会と考えると余りにも多方面に渡り、多岐にわたります。ここでも二十代より五十代の方に光の当る環境造りに的をしぼつて考えたいと思ひます。いわゆる子育て支援環

境造りと云うことですがこの世代の若い人達が住み易いまちづくりを指針とした政策を目指して行けば、三春町の若返りにもなり人口増加にも希望がもてるかと思ひます。すでに平沢四合田に三春町が二十九区画を分譲住宅として建てています。若い人達が対象の団地です。二十代から五十代代の働きざかりの方ですと一番問題なのは託児所、保育所、小中学校の利便性が最大の条件となりこの条件に合っています。

三春町で人口増加傾向にあるのは岩江地区ですが郡山に近く比較的地価も安く住宅希望者には格好の地域ではないかと思ひます。立地条件を最大に生かしたいものです。

環境部会

船田 勝正

この度三春まちづくり協会の環境部会の一員となりました。長年住んでいる三春ですが、初めてのことで何をすればいいのかわからず不安であり、また今はコロナの中ほとんど活動が中止となつておりますが、なにか一つでも役立つことが出来ればと思ひます。そして部会の皆様に協力し少しでも活気ある町になればと思ひます。

福祉部会

本田 嘉則

この度、三春まちづくり協会福祉部会員に参加

することになりました。私は三春町で生まれ、郡山市内の会社にて約四十二年間勤め定年退職後、町内の事業所でパートタイムの仕事をしていました。

三春まちづくり協会について、資料を読んでみました。福祉部会は「元気で健やかに暮らせるまちづくり活動」がテーマになっているので、町民の健康づくりを、応援や支援するのが仕事と感じました。

自分は健康づくりのために、仕事が休みの時に、自宅からお城山まで散歩しています。また、年数回、県内の山を山登りもしています。しかし、毎年の健康診断では、必ず何らかの要精検の通知があります。幸い高血圧以外の疾病はありませんが、健康維持には何が効果的なのか日々悩んでいます。

今回この会に参加することで、町民の健康づくりに貢献しながら、自分自身も元気で健やかに暮らしたいと思ひます。

地域部会

人見 誠

この度、三春まちづくり協会地域部会員として活動していくこととなりました。

三春町消防団の団員として、地域の防災に携わつてまいりましたが、三春町では、字ごとに自主防災会を開催し、「わが町は自分たちで守る」を実践されている中で三

春町消防団三春分団として暮らせるまちづくりの一翼を担っていければと思つております。

昨今では、新型コロナウイルスの感染拡大により、例年に比べますと消防団としても思うような活動が出来ない状況にあります。三春分団七つの部が、日頃より字内警戒や、訓練ポンプ整備をできる範囲で行いながら地域防災力の強化に努めているところであります。

これからも、町にないではない消防団としてつなぐを大切にしながら、まちづくり活動に取り組んでまいりますのでよろしく願いいたします。

広報部会

原田 博

協会の中には、六つの部会があり私たちが活動しているのが広報部会です。広報部会は、年四回の発行に協会の各部会の案内や活動を報告することです。各部会の案内により多くの町民が行事に参加し活発な活動が実施され成果をあげられるよう支援していきたいと思ひます。

わたしは、初めてまちづくり協会に携わることになり、まちづくりは行政だけではなく一般町民の協力があり成り立っていることを知りました。私もこれを機会に地元の方々を誘いながらできる

編集後記

限り行事に参加し、まちづくりを盛り上げていきたいと思ひます。

▼三春へ住んでから三十二年経ちましたが、地形の変化が激しく雪道には苦勞しております。県外へ四十年間勤め縁有つて居住することになりましたが、歴史や文化に富んだ三春町にすっかり満足しております。▼さて、災害は忘れた頃にやつて来ると申しますが、千年に一度の未曾有の大震災。そこに輪をかけたように原発事故が起き、またまた百年に一度といわれる疫病新型コロナウイルスが発生し短期間の間に多くの災害を体験しました。▼数字の上では千年? いや百年も生存しなければ体験できないはずが、それだけの流れがスピード化したのかも。不謹慎な考えですがこの貴重な体験をプラス思考に受け無駄にならない様今後の人生に生かしたいと思ひます。▼

新年度になり今年こそ平常な町づくり活動ができるように願ひ前を向きたいと思ひます。

(服部 昇)

コミュニティだより「三春わが街」第一〇〇号
発行日 令和三年六月三十日
発行 三春まちづくり協会
編集 三春まちづくり協会
広 報 部 会
三春まちづくり協会
(六二)三九八八